

犬山市男女共同参画推進指針 次期改訂のポイント

2025年11月18日 ジェンダー平等審議会資料 ― 国の第6次基本計画を踏まえた改訂たたき台 ―

1. 現状と課題

■ 現行指針の構成（2018-2027年度）

- Ⅰ. 意識改革（理解促進、家庭・学校での平等教育）
- Ⅱ. 基盤づくり（WLB、働き方改革、女性活躍）
- Ⅲ. 女性参画の拡大（地域・防災・政策決定）
- Ⅳ. 安全安心（健康、環境、暴力根絶）

■ 国の第6次計画との主なギャップ

- ▶ **SOGI・多様性**：性的マイノリティへの配慮が不足
- ▶ **交差性**：貧困・障害・外国人等の複合困難への視点
- ▶ **デジタル社会**：AI/ITにおける格差、オンライン暴力
- ▶ **ジェンダー主流化**：全政策への体系的組み込み
- ▶ **所得向上**：経済的自立を独立分野として明示

2. 次期指針への追加検討項目（9分野）

分野	主な内容
①所得向上	賃金格差解消、非正規→正規転換、ハラスメント防止
②生涯健康支援	リプロダクティブ・ヘルス/ライツ、更年期支援、女性版健康経営
③テクノロジー	AIバイアス除去、STEM人材育成、オンライン暴力対策
④生活困難支援	貧困・ひとり親・外国人等への支援、複合差別の解消
⑤防災主流化	避難所運営、物資配給、意思決定への女性参画
⑥官民連携	女性起業支援、若者定着、デジタル活用の地域課題解決
⑦教育・メディア	固定的性別役割の解消、学校教育・社会教育の統合
⑧国際連携	多文化共生、SDGs/G7との連携、海外事例の導入
⑨推進体制・KPI	ジェンダー統計整備、影響評価、透明性向上

3. 審議会での議論の論点

論点1：優先順位と市独自性

9分野のうち犬山市が特に注力すべき分野は？市の強み（歴史・文化・産業）をどう反映させるか？

論点4：多様性と交差性への対応

SOGI、高齢者、外国人、障害者等への統合的支援策は？差別のない行政サービス提供の方法は？

論点2：ジェンダー統計とKPI

どの指標を優先導入すべきか？公開・検証の頻度は？行政負担と透明性のバランスは？

論点5：防災のジェンダー主流化

避難所・復興計画への女性参画の仕組みは？災害時DV・性暴力対応の具体策は？

論点3：民間・地域との連携

認証制度・助成制度の設計は？小規模事業者・農業従事者への支援策は？

論点6：教育・メディアの役割

学校でのジェンダー平等教育の導入方法は？市民意識の効果測定方法は？